

2023（令和5）年度 薬学部卒業研究論文 著者と研究テーマ

卒業研究の目的と概要

薬学の知識を総合的に理解し、医療社会に貢献するために、研究テーマを通して、新しいことを発見し、科学的根拠に基づいて問題点を解決する能力を習得し、それを生涯にわたって高め続ける態度を養う。

学部の講座系並びにセンター組織に属する各研究室において指導教員の下に個々に研究テーマを定め、実験を通して得られた結果や調査を通して収集した情報について、教員とのディスカッションを踏まえ考察する。考察を基に問題解決策や将来に向けての展望など、卒業研究に対して自身で総括を行う。

井上 星乃華	脂肪細胞の分化に及ぼすブテインの影響に関する研究
渡辺 とわ	フラボノイドによる糖尿病予防効果に関する調査研究と脂肪細胞に対するブテインの抗炎症効果に関する実験
竹田 有沙	クエチアピン坐剤の製剤学的評価方法に関する研究
由田 遼夏	薬局製剤クエチアピン坐剤の製剤学的評価に関する研究
福島 有里	HPLC・UV によるアルコール類の定量方法の開発
柚木 香南	HPLC・UV による大豆イソフラボン類の定量方法の開発
森本 倫代	(Trp-Pro-Arg) <i>n</i> -mytcalin A6 (3-23)-OH 誘導体類の合成および構造活性相関の検討
山本 彩賀	Mytcalin A6 (3-23)-(Trp-Pro-Arg) <i>n</i> -OH 誘導体類の合成および構造活性相関の検討
石垣 奈々子	分子シミュレーションを用いたフラバノン誘導体と ER α の結合解析
小田 郁久美	分子シミュレーションを用いたイソフラボン類と 3CL プロテアーゼの結合構造解析に関する研究
澤野 由季	水溶性ポルフィリン類の DNA 結合能と発光ダイオードを用いた光増感作用に関する研究
中野 桜	トポイソメラーゼ I 活性阻害作用を有するポルフィリン類の探索に関する研究
定免 育弘	地域別のレセプト集計データを活用した誤嚥性肺炎の要因解析に関する研究
町田 充輝	NDB オープンデータを使ったバイオシミラーの普及に影響を与える要因の研究
古山 佳奈	Liquiritigenin による軟骨細胞の細胞増殖シグナル活性化と変形性関節症モデルマウスに対する治療効果
山上 丈太郎	骨格筋の筋菅形成におけるフラバノン誘導体 AB044 の作用に関する研究
北川 悠	湿度条件が一包化フィルムの水分透過率に与える影響
藏 清香	高湿度に保管し軟化したソフトカプセルの硬さの測定に関する研究
潮木 雅大	培養ミクログリア BV-2 細胞に対する Butin の突起伸長作用
井上 凜香	複雑型小児熱性けいれんマウスの脳炎症におけるプロスタグランジン系の変化とその役割
高木 日菜	社会挫折性ストレスモデルにおけるプロスタグランジン E2 合成酵素の発現と行動変化
岡本 聖菜	センダン (<i>Melia azedarach</i>) の殻の成分研究
喜納 克匡	ハウチャクソウ (<i>Disporum sessile</i>) の地上部の成分研究
下中 須弥子	外来 ICI 療法での irAE 管理において求められる薬剤師の役割に関する実務経験に基づく調査研究
畑田 剣史郎	標的分子別副作用発現の実態把握を通じた在宅でのがん薬物療法における薬剤師の役割に関する実務経験に基づく調査研究
佐藤 朝則	死と向き合うことになって～患者としての私、薬剤師を目指す私、そして～

沖崎 拓慶	高血圧に関する調査研究～30 歳代、男性における高血圧について～
今村 萌	血管平滑筋遊走抑制活性を有する生薬の探索研究
上杉 南月	血管平滑筋細胞石灰化能に作用する生薬の探索研究
西山 妃菜子	チアゾリジン系薬と骨代謝との関係に関する調査研究
古谷 萌花	レボフロキサシン結合 polymyxin B の抗菌活性に関する研究
松川 拓馬	N 末端部置換 polymyxin B 誘導体の細胞毒性に関する研究
安居 咲菜	ヒト膵臓がん細胞 PANC-1 細胞に対する胆汁酸の栄養飢餓耐性解除作用に関する研究
田中 和樹	d-カンファーシップ塩基のジアステレオマーの物性と結晶構造
横山 慶太	d-カンファーシップ塩基の単結晶 X 線構造解析と分子軌道法計算
鶴浦 絢	糖尿病患者における個別食事指導に関する研究 ～高齢者・肥満・やせ等に合わせた指導内容～
山下 さゆ	若年・中年層における運動習慣とロコモティブシンドロームの認知度に関する調査研究
日高 雅子	PTP シート誤飲事故とその解決策の提唱
宮本 えりな	人と環境に優しい PTP シート素材の検討
鈴木 真奈	ステロイド誘発性うつ病モデルマウスに対するカワラケツメイ由来フラボノイドの病態改善効果
山本 芽生	カワラケツメイ由来フラボノイドは AMPK 活性化を介して抗高血糖作用を示す
赤嶺 奈名子	大麻草のクローン栽培におけるカンナビノイド含有量の変動に関する研究
仲村 恵理子	大麻草水耕栽培における施用肥料の発育に及ぼす影響に関する研究
梅田 和希	Liquiritigenin と Isoliquiritigenin の合成と紫外可視分光測定
橋口 明佳	Liquiritigenin と Isoliquiritigenin の合成と HPLC による安定性の検討
卯之原 響	ヒト各種細胞株における低線量放射線の感受性の差異についての検討
岡田 美德	ヒト乳がん細胞株 MCF-7 の低線量放射線による細胞周期停止の作用機序解明
土山 真歩	低線量放射線照射によるヒト乳がん細胞株 MCF-7 の細胞周期停止と老化の関係
水富 聖士	ヒト乳がん細胞株 MCF-7 における抗がん剤と低線量放射線の併用による影響
田川 司	認知症患者の漢方薬適正使用に関する研究
向井 悠師	介護施設における入居者への漢方薬管理の現状と課題
小坂 航太	中学校での医薬品教育開始 10 年後における教育効果等の現状調査
藤本 恭歌	Neuro2a 細胞に対するスチルベン誘導体 MM-027 の神経突起伸長メカニズム
前川 茉里奈	ツニカマイシンによる小胞体ストレス傷害に対する AB-055-6 の Neuro2a 細胞保護作用
瀬戸 和志	ハナビラタケの抗腫瘍効果に関する調査研究
生地 正育	ツボクサの認知機能改善効果についての調査研究
久我 明日風	β -ヒドロキシ- β -メチル酪酸 (HMB) サプリメントが健常人の筋肉量に及ぼす影響についての調査研究
野本 真衣	ビタミン C によるヒト三次元培養表皮モデルの分化促進作用とエピジェネティクスの関連性に関する研究
柴田 悠梨	食料品包装における食品に関する表示の調査及び食品表示の今後の課題
横山 佳織	カルノシン類似体及び構成アミノ酸誘導体の睡眠促進作用に関する研究
河田 涼杜	栄養機能食品における栄養成分の表示に関する調査研究
本多 那菜	簡易懸濁法におけるチューブ通過性と製剤の粒子径に関する検討
長尾 流瑠香	経口ゼリー剤カップ容器の開封性評価に関する検討
高村 祐仁	アジ化物の環化付加反応を利用したカルノシン類似体の合成検討
森 千紘	テトラゾール環を有するカルノシン類似体の合成検討
横山 睦	PSMA 陽性転移性去勢抵抗性前立腺がんに対する新治療法に関する調査研究
中谷 麻鈴	SGLT2 阻害薬が筋骨格系に与える影響に関する調査研究
扇谷 ひかり	Heck oxo-Michael 連続反応を利用した thienopyran 骨格の合成研究

宮下 芽依	Heck aza-Michael 連続反応を利用した thienopyridine 骨格及び 1,7-naphthyridine 骨格の合成研究
谷内田 侑里	ケモカイン強発現誘導型ヒトサイトメガロウイルス株 91-7S の遺伝子解析
鈴木 はる奈	ヒト iPS 細胞から運動神経細胞への分化誘導と α ヘルペスウイルスの感染性の解析
一ノ瀬 悠樹	インタビュー実施による薬剤起因性老年症候群を訴える 薬局外来患者の発見と対応
石政 遼也	薬局外来における薬剤起因性老年症候群を訴える患者発見のためのスクリーニング方法開発に関する研究
松尾 茂治	ヘック反応を利用したフラバノン誘導体の合成検討
栗林 真奈	AMPK 活性作用を有する新規 Flavanone 誘導体の創薬研究
小川 雅代	抗コロナウイルス効果をもつフラボノイドの探索とウイルス複製阻害薬との比較
亀田 翔吾	大腸菌を用いたヒトコロナウイルス 229E の 3CL プロテアーゼの発現と酵素活性阻害物質の探求
鳥谷部 悠史	ペルオキシナイトライトの 5-ヒドロキシトリプトファンおよびセロトニンとの反応性 ～フォトダイオードアレイ検出器を用いた逆相 HPLC による解析
中川 颯人	環境因子によるニトロ化反応の影響の解析に向けた大豆タンパク質の調製法及び解析法の検討